



2024年6月28日

各位

会社名 アズマハウス株式会社
代表者名 代表取締役社長 東 行男
(コード番号:3293 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 真川 幸範
(TEL.073-475-1018)

(訂正・数値データ訂正)「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2024年5月15日に開示いたしました「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

2024年5月15日の開示後に一部訂正すべき事項が判明いたしましたので、「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」を訂正させていただくものであります。

2. 訂正の内容

①「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」添付資料 4 ページ

1. 経営成績等の概況 (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

【訂正前】

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,130百万円の支出(前連結会計年度は903百万円の支出)となりました。主な増加要因は、投資有価証券の売却による収入546百万円、定期預金の預入による支出57百万円、定期預金の払戻による収入50百万円及び有形固定資産の売却による収入21百万円であります。主な減少要因は、有形固定資産(主として賃貸用不動産)の取得による支出1,811百万円であります。

【訂正後】

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,130百万円の支出（前連結会計年度は903百万円の支出）となりました。主な増加要因は、投資有価証券の売却による収入546百万円、定期預金の払戻による収入109百万円及び有形固定資産の売却による収入21百万円であります。主な減少要因は、有形固定資産（主として賃貸用不動産）の取得による支出1,811百万円であります。

②「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」添付資料 11 ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記 (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△648,491	△1,811,484
有形固定資産の売却による収入	1,060	21,232
投資有価証券の取得による支出	△100,000	-
投資有価証券の売却による収入	-	546,879
定期預金の預入による支出	△171,206	57,893
定期預金の払戻による収入	-	50,000
補助金の受取額	-	16,783
その他	15,060	△12,120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△903,577	△1,130,817

【訂正後】

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△648,491	△1,811,484
有形固定資産の売却による収入	1,060	21,232
投資有価証券の取得による支出	△100,000	-
投資有価証券の売却による収入	-	546,879
定期預金の預入による支出	△171,206	△1,205
定期預金の払戻による収入	-	109,098
補助金の受取額	-	16,783
その他	15,060	△12,120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△903,577	△1,130,817

以上